

本時のねらい

- 一人ひとりのダンスの動きを正確なものにする。
- グループで教え合い、話し合うことで協調性を高めながら、集団でまとまりのあるダンスができるようになる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- 踊っている自分の姿を撮影し、見本と比べることで課題を発見することができる。
- 集団演技を撮影することで、どのような表現ができているのかを確認し、次時につなげる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- タブレット
- テレビモニター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ダンスリーダーの見本動画を流し、本時のめあてを確認する。 ・振りを覚え、集団でも演技をそろえるよう練習する。 ・腕の高さや、上げるタイミングなどを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビモニターにダンスリーダーの見本動画を映すことで、本時に意識するポイントや練習の内容などを確認することができる。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアで撮影し合い、お互いの動きについてアドバイスする。 ・振りが合っているか、手を挙げる高さなどがそろっているかを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・客観的に自分の姿を見ることができる。 ・自分自身の成長した姿を実感することができる。 ・友だちと撮影し合うことで、意見交流の場を持たせることができる。 ・修正前と修正後の動きを見ることができ、達成感につなげることができる。
まとめ (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○集団としての演技を確認する。 ・10人グループで撮影し、集団で動きがそろっているか確認する。 ・その動画をもとに、できるようになったことの確認や、次の目標を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中での自分の姿を振り返ることができる。 ・他者とアドバイスし合うことで協調性を高めることができる。 ・ダンスリーダーが指揮をとり、解説したり、そのほかにもわからないところがないか、意見を聞いて話し合ったりすることができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：テレビでダンスの振りの確認



写真2：ペアで動画を撮り合い、動きを確認



写真3 集団での動きの確認、振り返り

児童生徒の反応や変容

- 自分の動きを客観的に見ることができるので、自分で振り返り、修正や改善しやすい。
- 自分の姿をみながら振りつけを確認できるので具体的なアドバイスができる。
- 普段関わり合いがあまりない子とも話すきっかけとなり、コミュニケーションの充実にもつながった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- 見本の動画を見せた後、自分の動きと比較して修正することができるので、説明しやすい。
- ペアでの活動の中で、一度の演技では把握できない修正点などに気づきやすく、スロー再生や、途中で止めるなどをすることで、気づきの幅が広がる。
- アドバイスをすることが苦手な生徒も、ビデオを見て、演技をしている子と一緒に考えることができ、生徒同士のコミュニケーション力や協調性が高まる。